

とみや議会だより

第5号



▲しんまち通り

新議長選任……………P 2 ～
平成28年度決算を認定……………P 4 ～
一般質問 ……………P11～
よりよいまちづくりのために ………P20～
委員会報告

2017年(平成29年) 11月 1 日発行

発行責任者/富谷市議会議長
編集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地
Tel.022-358-0622

ホームページ

富谷市議会

検索



新議長に 相澤 榮氏を選任

第3回定例会において議長選挙が行なわれ、
20人の議員が投票しました。
その結果、富谷市議会第二代議長に相澤榮
氏を選任しました。
その後、議会の各委員会の任期満了に伴い、
委員会の委員を選任し、16日間の会期を終え
ました。



第3回定例会におきま
して、議員各位のご推挙
により富谷市議会第二代
議長に就任いたしました。
大変光栄であります。が、
議長として果たさなけれ
ばならない責任の重さに、
身の引き締まる思いです。
地方分権の時代を迎え、
自治体の自主的な決定と
責任が拡大する中にあつ
て、二元代表制の一翼を
担う議会に課せられる責
務は大変重く、意思決定
機関及び行政の監視機関
として議会の役割は大き
いです。
私は、議会制民主主義
の本旨にのっとり、常に
公正公平な立場で信頼と
期待をされる議会運営に、
微力ながら全力で取り組
んでまいります。市民皆
様方のご指導、ご協力を
お願い申し上げ就任の挨
拶いたします。

富谷市議会

議長 相澤 榮

任期満了により

委員会の構成が 変わりました

◎委員長 ○副委員長

産業建設 常任委員会

◎山 路 清 一
◎高 橋 正 俊
○若 生 英 俊
○藤 原 武 志
○浅 野 俊 一
○渡 邊 俊 一

議会広報調査 特別委員会

◎浅 野 直 子
◎畑 山 和 晴
○青 柳 信 義
○若 生 英 俊
○長谷川 美 峻
○藤 原 俊 一

総務 常任委員会

◎青 柳 信 義
◎畑 山 和 晴
○金 子 透
○佐 藤 克 彦
○出 川 博 幸
○安 住 稔 一

議会運営 委員会

◎佐 藤 聖 子
◎齊 藤 秀 行
○青 柳 信 義
○山 路 清 一
○浅 野 直 子
○菅 原 治 雄

教育民生 常任委員会

◎菅 原 福 治
◎浅 野 直 子
○長谷川 美 行
○齊 藤 秀 子
○佐 藤 聖 子
○西 田 嘉 博
○浅 野 幹 雄

富谷市国土利用計画の 策定について



この計画は宮城県国土利用計画（第5次）を基本として、富谷市の市制施行及び諸情勢の変化に伴い、国土利用計画を新たに策定するものです。市の区域において長期的に安定した土地利用を図ることを目的として、市土の総合的・計画的な利用を図る上での指針となり、富谷市総合計画に即して策定します。

市土の基本理念として、富谷市のまちづくりの将来像として掲げる「住み

たくなるまち日本一」100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ」の実現のため、市土は市民の限られた資源・財産として認識し、公共の福祉を最大限優先し、緑豊かな自然や農地などの調和を図りながら、バランスのとれた都市機能の配置を進めます。そして将来にわたって豊かに安心して暮らすことのできる持続可能な市土の形成を図ることを本計画の基本理念とします。

問 成田二期北地区開発で予想される、渋滞や環境など住環境対策は。

答 環境や交通関係は慎重に、最善を尽くします。

問 企業誘致の際、地元の中小企業に対する地域内循環の考え方は。

答 循環は必要であり、利益やつながりの向上に努力します。

問 東北自動車道と仙台北部道路の接続は。

答 早期の実現を目指していきます。

問 スマートインターを国に要請する考えは。

答 成田二期北地区の開発が進んだ段階で、検討していきます。

問 市の国土利用計画は、仙塩広域都市計画に盛り込まれないと実現できないのか。

答 国土利用計画の土地利用の方向性を根拠に、線引きの見直しの協議を行っています。

問 今後の説明会の位置づけと、国との事前協議、都市計画変更の告示は。

答 都市計画法で規定され、既に国との事前協議は終了しており、告示は来年5月の予定です。

住環境への 具体的対策を示すべき

反対 藤原 峻 議員

新たな高屋敷工業団地も完売が予想され、成田二期北の工事も視野に入ってきていますが、さまざまな懸念があります。

平成21年の宮城県環境影響評価審議会では、「調査予測および評価の手法が明らかにっていない部分が多い」など示されています。もし工事が始まれば住宅密集地の成田地区での騒音、粉塵、振動、大気汚染、渋滞、動植物・生態系への影響などが懸念されます。これらにどのような対策を想定しているのか見えません。対策も含め、住民への情報提供を求め反対します。

討

論

人口増加と新たな 工業用地の確保

賛成 菅原 福治 議員

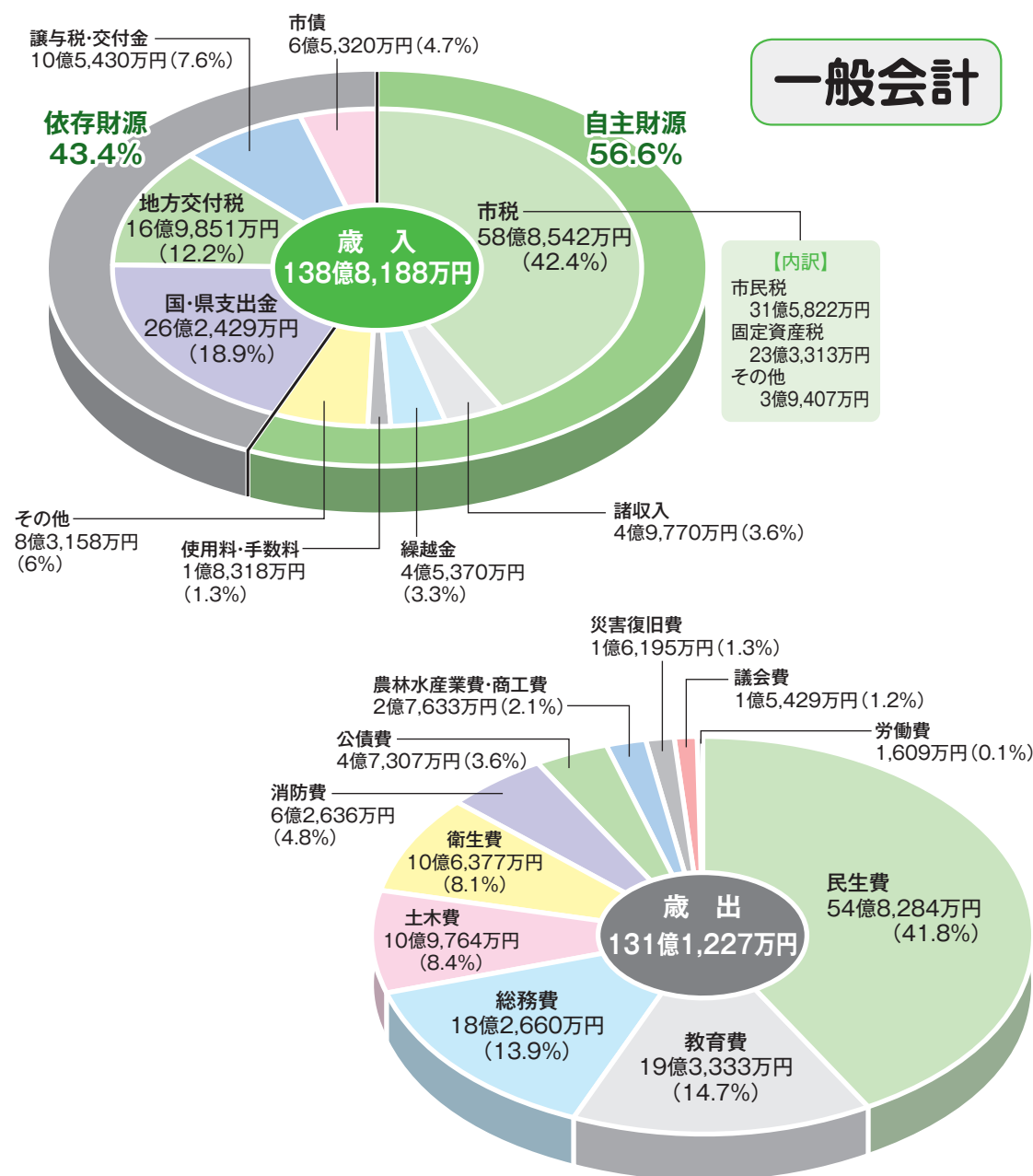
本市は、これまで計画的に土地利用を進め、人口増加により、市制移行を実現しました。これからは市制に合った、住み

たくなるまちを形成しなければなりません。市街地ではまだ人口増加傾向にあり、人口ビジョン平成37年まで、5万5000人を想定した市街地面積の拡大を図る。また工業用地は、自動車関連、製造業用地のニーズの高まり等をふまえ、東北自動車道などの活用により、企業誘致と雇用の確保に繋げるため、新たな工業用地を確保する。市の将来を見据え賛成します。

平成29年第3回定例会は、8月31日から9月15日までの16日間の会期で開かれました。

平成28年度の一般会計と国民健康保険特別会計等の各種決算と平成29年度補正予算、人事案件、廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部改正など、11議案、決算認定6件が提出されました。慎重に審議した結果、全件可決しました。

一般質問は4日間にわたり15人の議員が、28件について市政を問いました。



平成28年度 各種会計決算の状況

種 別		歳 入	歳 出	収支差引
一 般 会 計		138億8,188万円	131億1,227万円	7億6,961万円
特 別 会 計	国民健康保険	44億 825万円	42億6,045万円	1億4,780万円
	下 水 道 事 業	10億2,729万円	10億1,000万円	1,729万円
	介 護 保 険	23億5,436万円	23億3,717万円	1,719万円
	後期高齢者医療	3億 765万円	3億 円	765万円
水道事業	収 益 勘 定	11億5,537万円	10億7,638万円	7,899万円
	資 本 勘 定	620万円	1億4,846万円	△1億4,226万円

主 な つ か い み ち

民 生 費



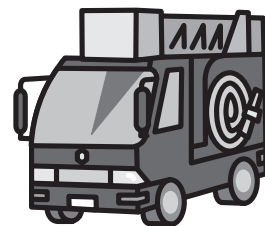
- 子育て支援拠点整備事業
4億2,944万円
- 障害者自立支援給付事業
3億7,477万円
- 子ども医療費助成事業
2億7,460万円

教 育 費



- 学校給食センター運営・維持管理事業
4億4,770万円
- 幼稚園就園奨励費補助事業
1億3,216万円
- 市立小学校維持管理事業
1億2,041万円

消 防 費



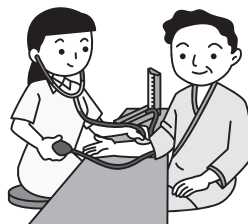
- 黒川地域行政事務組合負担金
5億7,361万円
- 消防団員設置・運営事業
1,815万円
- 消防操法大会
627万円

土 木 費



- 二・三ノ関線外8路線舗装修繕事業
1億2,959万円
- 一般公園維持管理事業
1億 762万円
- 中継ポンプ場更新及び維持管理業務
9,800万円

衛 生 費



- 一般廃棄物収集運搬処理事業
2億 622万円
- 松森工場共同整備事業
1億6,187万円
- 住民検診事業
1億5,601万円

総 務 費



- 地方創生推進事業
2億6,687万円
- 市制移行準備事業
1億4,430万円
- 公有財産維持管理事業
9,800万円

歳入歳出のあらまし

平成28年度の一般会計の決算は、歳入が138億8,188万円、歳出が131億1,227万円で前年度比、歳入3.5%、歳出3.0%の増となりました。

歳入歳出増加の主な要因は、生活保護などの事務権限が委譲されたことなどにより歳出が増となり、歳入はこの財源となる国庫支出金などの増によるものです。

実質収支は5億9,231万円の黒字となり、平成29年度事業に充てるほか財源不足に備え、3億円を基金に積み立てました。

歳入は、市独自の自主財源と、国・県からの依存財源に分けられます。平成28年度の自主財源比率は約57%です。

歳出は、民生費が全体の約42%を占めています。

農林水産業費・商工費



- 中小企業制度融資事業
1億1,059万円
- とみや国際スイーツ博覧会開催経費
4,125万円
- 企業誘致事業
851万円

28年度 決算審査 こんな質疑がありました

平成28年度の一般会計・特別会計及び企業会計については、決算審査特別委員会において慎重に審議しました。

総務・財政

ふるさと納税

問 ふるさと納税返礼品の件数の伸びと金額は。
答 前年度に比べ9件の増。金額については、30000円を目安にしています。

マイナンバーカード

問 交付率が低いですが、住民への周知、普及促進の対応策は。
答 まずは広報等による周知をします。

新公共交通システム

問 導入について想定需要は。
答 来年度から具体的に公共交通のグランドデザイン策定に取り組む予定です。

わくわく市民会議

問 わくわく市民会議以外で市民の声を聞く機会。
答 市長への手紙、市政懇談会等があります。

公営墓地

問 「仮称」やすらぎパークとみやの今後のスケジュールは。
答 8月1日基本計画の契約を締結し、今後墓地需要や適地選定、概算経費の算定等協議の段階にあります。

リサイクル

問 廃食油のリサイクル場所の増設は。
答 現在3地区で行っていますが、収集に係るトラックの手配、人件費等費用がかかるため検討していきます。

エネルギー

問 エネルギーの自給に關しての計画は。
答 協定等結びながら、連携もふまえ、体制の強化をしていきたいと思っています。



教育・福祉

学校給食

問 地産地消の検討は。
答 今後、研究します。
問 小学校の未納額が11万8000円、中学校が14万2000円ですが、人数は。
答 保護者4人、児童生徒7人分です。

問 その中で、経済的困窮を理由としない人数は。
答 4人です。

子育て支援

問 子育てサロンで定期的に実施していた臨床心理士の相談は。
答 28年度は、市のすくすく相談で行っています。

問 子どもまつり開催でどのような声が聞かれましたか。
答 成長過程が見られ、地域の方々との連携や協力が得られました。

問 虐待相談で、心理的虐待が12件増の対応は。
答 DV相談に、重点的なかわりを持つていきます。



問 虐待連鎖への今後の対策は。
答 問題をかかえている方への相談、支援の連携を行います。

高齢者支援

問 「とみばす」にくわえデマンドタクシーの検討は。
答 ひとつの手段にこだわらず使えない人々の助成制度も含め検討したいです。

問 富谷市での、老人ホーム待機者は何人ですか。
答 自宅、病院、その他も含めて124人です。

問 待機高齢者ゼロに対して、どのように考えていますか。
答 待機ゼロに向けアルシユが開設しました。

問 市内の認知症の人数は。
答 65歳以上の方の15%程度の想定です。

問 今まで何件ぐらい捜索願が出されましたか。
答 過去5年間SOSも含めて32件でした。

産業・建設

道路・除融雪、公園

問 道路維持管理計画の考え方は。
答 路面正常調査を実施し、修繕計画を策定します。

問 除融雪を、28年度4工区に分けて施工した課題は。
答 費用対効果を考慮し、29年度は3工区に戻す検討をしています。

問 公園を良好な環境に維持するための現状把握の取り組みは。
答 公園の維持管理に努めています。

市営住宅

問 市営住宅に入居できる要件を満たしながら、入居できない方へ行政の支援が必要では。
答 生活困窮者支援をはじめ、支援の努力は進めます。



農業振興、作物被害対策

問 新たに植栽されたブルーベリーの成木の本数は。
答 375本です。

問 農作物に対するイノシシの被害対策は。
答 根本的な対策の方向で準備を進めます。

企業誘致、企業立地奨励

問 立地した企業に対する奨励金の種類は。
答 立地奨励金、雇用促進奨励金、用地取得奨励金などです。

富谷まちづくり産業交流プラザ

問 産業交流プラザの今後の取り組みは。
答 運営に関する業務委託の結果を踏まえ、12月定例会で条例を整備し、来年7月オープンに向け、運営形態を整えます。

道の駅

問 スイーツの駅で販売する産直品の増産についての考え方は。
答 スイーツの駅と合わせて新果樹等進めていきます。

監査委員の意見

平成28年度富谷市一般会計をはじめ、特別会計（4会計）及び水道事業会計の6会計について、延べ16日間にわたり決算審査を行った。

一般会計については、前年度に対し、歳入で4億7576万円、歳出で3億7984万円の増額となった。主な要因は歳入で、市税や国庫支出金の増額、地方交付税、繰越金の減額である。歳出では、明石台小学校の校舎建設の終了等による減額、市制移行準備経費、子育て世代包括支援センター新築、放課後児童クラブ等の整備、新たに生活保護費の新設による増額である。

決算審査の結果、計数的に正確であり、不当性、違法性は認められず、また、特定目的基金の運用についても適正と認める。

市制移行に伴う特殊事情だが、財政構造が弾力性を失いつつあり、独自施策実現のため、経常経費の抑制に努められたい。

富谷市代表監査員
眞山巳千子

討 論

2会計について 討論がありました

福祉拡充と 市制運営を評価

賛成 浅野 直子 議員

町制から市制施行へスムーズな対応となり、一般会計も市民の負託に応えた決算になりました。歳出は、民生費で42%

黒字・不用額は 市民要求のために

反対 佐藤 聖子 議員

決算は約6億円の黒字、不用額は増加しました。黒字と不用額は、市民の要求、たとえば道路や側溝整備、高齢者や障がい

一 般 会 計

を占め、子育て世代包括支援センターや放課後児童クラブなどの建設、高齢者・障がい者外出支援乗車証事業等、福祉の大きな前進です。また、新たなシティーブランドの確立に向けてスイーツを通して発信し、消防・防災対策では地域の救急体制の強化が図られました。町制から市制へ変化に富んだ執行でしたが、今後も着実な行財政改革の推進を求め賛成します。

者の福祉サービス拡充、保護者が求める公立や認可保育所の要望に応えるべきでした。農業支援が脆弱であり、市として抜本的支援制度も必要です。その他多くの要求に計画的に応えるべきだったと考えます。市長には職員に憲法を学習させ、憲法を暮らしに生かすことを基本に、市民の福祉増進のために仕事にあたるよう求めて反対します。

さらなる医療費 適正化に期待

賛成 長谷川る美 議員

保険税の収納率低下という課題を抱える中、本市ではきめ細かな収納体制等により3・3ポイント増の80・6%となりました。

13億円の基金 税率引き下げできた

反対 佐藤 聖子 議員

国保基金残高は、13億5914万円であり、国保加入者の負担軽減のために税率引き下げを実施すべきでした。

国 民 健 康 保 険 特 別 会 計

した。また、重症化予防事業や早期治療、疾病の予防を推進し、後発医薬品利用率の増などを通して医療費の適正化にも努めました。被保険者の高齢化が進む中、さらなる健康づくりや疾病予防と早期発見など、医療費の適正化に向けた取り組みの推進や、市民が安心して医療を受けられる制度の実現を期待して賛成討論とします。

平成30年度から国保制度は、都道府県単位化になります。議会に制度の説明や解説はなく、市民への周知は十分とは考えられません。国保は社会保障であり、日本の誇る皆保険制度を下支えする役割を果たしています。社会保障である国保が都道府県単位化という新制度による増税で暮らしを圧迫させることがあってはならず反対します。

富谷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

富谷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第13条別表の一部改正（富谷市清掃センターに直接搬入されるごみの処理手数料の改正）について、原案のとおり承認しました。

①改正後の処理手数料

- ・100 kgまで1500円、100 kg超分は、10 kgまたは端数ごとに150円を加算。

②改正の理由

- ・施設の修繕工事や維持管理経費が増大しているため。
- ・ごみ処理原価に対する受益者負担割合の改善を図るため。
- ・排出量に応じた負担の公平性を図るため。

住民への負担増はやめるべき

反対 藤原 峻 議員

家庭ごみの処理サービスは、公共財という性質をもち、その費用は原則として、市町村の税金で賄っています。地方自治法では、

家庭ごみの処理は「市町村の自治事務」と位置付けられており、費用を地方税として徴収しているため二重取りです。今回、持ち込み一般廃棄物の金額が1・5倍になり、今後も際限なく住民に負担が押し付けられる懸念があります。また、仙台市ではリサイクルの取り組みも含まれており、富谷市として単純に近隣市町村との均衡を図るとありますが、根拠も乏しいため反対します。

討

論

ごみ排出抑制につながる

賛成 佐藤 克彦 議員

今回の改正は、粗大ごみ処理施設の老朽化による修繕コストの増大、ごみ処理原価の受益者負担割合が低い、排出量に

じた負担の公平性を図る3点です。この改正は、通常の生活ごみは対象とならず、富谷市清掃センターへ自らが持ち込む臨時に発生したごみを対象としているものです。また、近隣市町村（仙台市、黒川郡）も来年4月から同額に引き上げることです。ごみの流入を避けるためにも、改正により負担の公平性を図り、ごみの排出抑制のため賛成します。

補正予算

小規模保育設置促進事業に

4725万円

平成28年度一般会計補正予算は、9338万円を追加し、総額130億5437万円とするものです。

歳入の主なものは、社会資本整備総合交付金、小規模保育事業補助金の増、地方交付税の減などによるものです。

歳出の主なものは、小規模保育設置促進事業、道路維持費によるものです。

また、国民健康保険特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、後期高齢者医療特別会計予算、水道事業会計補正予算のそれぞれを原案どおり可決しました。

問 小規模保育室は何力所で定員数と手数料の内容は。

答 1カ所を予定し、定員19人以下、保育士の人材派遣手数料6人分です。

問 市道二・三ノ関線の

舗そう修繕の工事期間は、来年3月まで修繕する予定です。

問 JIALERT新型整備の内容は。

答 国からの発報の情報をキャッチするまでの時間が短縮できます。

問 ミュージックフェスタの実行委員は。

答 公民館のサークル、小中学校の先生、宮城県芸術協会の人々などです。

●●主なつかいみち●●

○小規模保育設置促進事業

・待機児童対策における小規模保育所1カ所と保育士にかかる費用です。

4,725万円

○市道二・三ノ関線外8路線舗装修繕事業

・市道成田環状2号線舗装修繕工事費用です。

1,582万円

○市立中学校運営事業

・富谷第二中学校と日吉台中学校へのシルバー人材委託費です。

565万円

第3回定例会（8/31～9/15） 議案採決結果一覧

	議案	賛成	反対	議決結果	金子透	青柳信義	若生英俊	長谷川る美	畑山和晴	齊藤秀行	藤原峻	佐藤聖子	浅野武志	西田嘉博	佐藤克彦	山路清一	浅野直子	高橋正俊	菅原福治	出川博一	相澤榮	渡邊俊一	安住稔幸	浅野幹雄	提案者		
第3回定例会	富谷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	17	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	市	
	富谷市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	平成29年度富谷市一般会計補正予算(第2号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	平成29年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	長
	平成29年度富谷市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	平成29年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	平成29年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	提
	平成29年度富谷市水道事業会計補正予算(第2号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	富谷市国土利用計画の策定について	17	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	19	0	原案可決	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	案
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	18	1	原案可決	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平成28年度富谷市一般会計歳入歳出決算の認定について	17	2	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	平成28年度富谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	17	2	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	案
	平成28年度富谷市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	19	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	平成28年度富谷市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	19	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	平成28年度富谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	19	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
		平成28年度富谷市水道事業会計利益処分及び決算の認定について	19	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○賛成 ×反対

※議長(浅野幹雄)は採決に加わりません。

※「人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて」については、無記名投票のため各議員の賛否は把握できません。

15人の 議員が 問う

一般質問

第3回定例会では15人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を12ページから19ページまで発言順に掲載しています。

一般質問の様子はインターネット録画配信でご覧になれます。

また、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

12P 菅原 福治 議員

No.1

- 富谷市国土利用計画について
- どこでも起き得る災害に万全を

12P 安住 稔幸 議員

No.2

- 子育て支援を問う
- 市の創業・起業支援を問う
- 市民の安全・安心の施策を問う

13P 浅野 直子 議員

No.3

- 健康ポイント事業について
- 富谷市の図書館整備の方向性は

13P 西田 嘉博 議員

No.4

- 市長公約の実現と財政状況について
- 地域防災マネージャー制度について

14P 齊藤 秀行 議員

No.5

- 10年後の富谷市政を問う

14P 佐藤 聖子 議員

No.6

- 子ども子育て新制度と富谷市の今後の子育てについて
- 食育推進と学校給食について問う

15P 畑山 和晴 議員

No.7

- いじめ問題の対策について
- 新学習指導要領について

15P 出川 博一 議員

No.8

- 動き出した行政改革
- 自治体クラウドの拡張性は

16P 長谷川 る美 議員

No.9

- 子育て支援センター「とみここ」について
- 図書館建設について

16P 若生 英俊 議員

No.10

- 事務事業の見直しによる歳出削減と総合計画の推進について問う

17P 金子 透 議員

No.11

- 企業誘致への取り組みを問う

17P 藤原 峻 議員

No.12

- 地域内経済循環の政策の充実は
- エネルギービジョン、エネルギー計画の作成は

18P 青柳 信義 議員

No.13

- 杜乃橋地区から日吉台小学校へ通う児童たちの通学困難について
- 市民バス乗り継ぎ実証運行事業について

18P 山路 清一 議員

No.14

- 公園や市道の木に樹木名プレート設置せよ
- 富谷市の国土利用計画状況等を問う

19P 高橋 正俊 議員

No.15

- 新市長が誕生した仙台市との今後の取り組みについて
- 本当に富谷市の財政は大丈夫なのか

※このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおり掲載しており、12ページからの要約した見出しと異なる場合があります。

問 市政に合った国土利用計画は

答 ネットワーク型の都市構造です

国土計画は、限られた土地を公共優先、自然環境、文化、都市機能等のバランスです。質問します。

問 今回の国土利用計画のポイントは。

答 将来の人口増加と産業用地の需要を見据えた新たな土地の確保です。

問 本市が、これまで同様に成長し続けるには、人口増加と企業誘致策をさらに実施すべきでは。

答 住居系・工業系各3地区全て市街化区域の候



菅原 福治 議員

問 現在、北部は行政と文化、南部は住宅と商業が中心ですが、中心市街地の考え方については。

答 現在は、北と南が分担して市街地形成をしています。今後は公共交通の進捗に合わせて、進むものと思います。

問 穀田三ノ関、宮沢根白石線の重要性の認識は。

答 土地利用の促進には、道路の整備が重要です。計画的に進めていきます。

問 ゲリラ豪雨いつ起きても万全か

答 緊張感を持ち危機対応を図ります

問 内閣府より、支援（支援を受ける）体制計画のガイドラインが示されており、策定すべきでは。

答 今後、ガイドライン等の研究・検討し、作成をします。

問 成田自主防災会と成田中学校防災訓練の評価と、他校への拡大を問う。

答 学校・地域・家庭のつながりが深まり、高い評価と敬意を表し他地区にも進めていきます。

問 休日や雨天時でも遊べる施設は

答 可能な限り設けるよう努力したい

「100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ町から市へ」の実現には、子育てしやすい環境の整備が重要な要素であり、住民へのきめ細かな取り組みが求められていることから質問します。

問 公民館を子育て支援として、自由に使える日を設定することは可能ではないかと思えます。休日や雨天時でも親子が遊べる施設の設置は。

答 今年度から公民館に、児童館機能として保育士



を配置していますので、ただいまの意見をふまえて、可能な限りそういう機会を設けられるように努力したいと思えます。

問 SNSの活用で、子育て情報の発信は。

答 新たに市のHPに子育て情報のサイトを作成中です。今後は、積極的な情報発信を行いたいと考えています。

問 乳幼児の家庭内事故を防ぐためのヒヤリハット・ジオラマ設置や事故予防を促す映像の公開や

答 今年度から公民館に、児童館機能として保育士



安住 稔幸 議員

配信は。

答 誤飲チェックカード等を健診のたびに示すなど、工夫したいと考えています。また、視覚で訴えることが非常に大事だと思いますので、そういう資料がないか、確認した上で配信等を行いたいと考えています。

問 母子健康手帳の交付や乳幼児の健診等の休日の実施は。

答 平日でも医師の確保が難しい現状であり、実現が難しいと思います。

その他の問

問 富谷市の起業・創業の支援策は

答 起業塾やセミナー等を検討します

その他の問

問 救急電話相談 #7119の周知は

答 ポスターや広報誌で周知に努めます

問 図書館整備についての方向性は

答 来年度基本計画策定する予定です

富谷市総合計画で示された生涯学習の部分に、

生きがいや心の豊かさを
得る生涯学習拠点として、

また、地域情報の拠点と
して図書館整備に努力す

る施策内容が盛り込まれ
ていました。

富谷市の図書館整備の
必要性和柔軟な発想、次
世代型図書館の構想を問
います。

問 図書館の整備計画策
定の目標年度は。

答 来年度基本計画を策
定する予定です。



▲ 次世代型図書館 ワークショップ資料

問 公民館図書室の課題
は何ですか。

答 スペースが限られて
蔵書が少ないことなどが
挙げられます。

問 既存の公民館施設維
持管理費も増えていくと

考え、図書館、文化施設
などの複合施設へ改修す
る方向も期待できるので

すか。

答 今後、老朽化も進む
上で維持管理費が増える

ものと認識しています。
図書館整備との兼ね合い

も含めさまざまな方向性
を検討していきたいです。

問 開催したワークショップ
で事業が見えた課題は。

答 付加価値を備えた施
設整備の要望もあり、望

ましい図書館のあり方を
洗い出していくことです。

問 中・高校生の声や市
民の意見を収集し、市民
協働作業の取り組みを増
やす計画は。

答 図書館づくりの最重
要ポイントでもあり、勘
案して努めていきます。

問 県立図書館への交通
アクセス推進も図書館整
備の一環として、努力す
るべきでは。

答 市民バスの乗り入れ
の要望もいただいていま
すが、民間事業者との協

議も必要です。簡単では
ないですが可能性を模索
しながら検討していきた
いと思います。



浅野 直子 議員

問 市長公約実現と財政状況は

答 全ての公約実現の方針です

昨年度、行政改革推進
本部を立ち上げ行政改革
に取り組み、現在、事務

事業の見直しなどの作業
を行っている最中と思い
ますが、この取り組みに

より効率的・効果的な行
政運営と健全な財政基盤
が築かれるものと期待し
ています。

さて、行政改革を推進
する上で、事業の選択と
集中が必要であり、市長

公約の実現性とその財源
を示す財政計画の見直し
が必要と思われます。

問 臨時財政対策債の発
行については。

答 可能な限り圧縮して
いきたいと考えています。

問 平成29年度の普通交
付税が決定され、13億5
000万円の予算に対し、

決定額は12億800万円
と1億4200万円の不
足の要因は。

答 市税の徴収率が見直
され、その年度の実質決
算額よりも過大に積算さ
れたことが要因です。

問 現財政計画において
は、平成31年度までに地
方債残高80億円、うち臨

時財政対策債は44億円ま
で残高が増え、毎年度、
財政調整基金を取り崩し

ているが、財政を維持し
ていくため、事業の選択
と集中が必要と考えます
が。

答 現在取り組んでいる
行政改革の進捗を踏まえ、
今後の予算編成過程を通
じ取り組みます。

問 次世代型図書館、複
合文化ホール建設につ
いて膨大な財源確保が必
要であり、将来の財政運
営に大きな負担となる。

広域での運営を図ること
も一つの方法では。

答 広域の中でというの
はなかなか難しいのが実
情ですが、今後の参考に
したいと思います。



西田 嘉博 議員

その他の問

問 健康ポイント事業に対する
見解は

答 有効な手段の一つという
認識です

その他の問

問 地域防災マネージャー制度は

答 防災行政の専門性は有効です

問 10年後を見据え、今何をすべきか

答 他自治体取り組みを参考にします

富谷市の最大の魅力、それは若さです。平均年齢は40歳代、この若さが富谷市において最大のメリットです。この若さに恵まれた環境である今だからこそ、将来予見される問題・課題を抽出し、子どもたちに夢と希望を与えられる環境を創造しなければなりません。

重責任世代である弱みとも言えます。養育費や学費の負担、いじめの問題、そして、親の介護、少子・高齢化、いじめ問題は解決の糸口が見えない重大な社会問題であり、自治体ごとの独自の施策が必要となってくると考えます。

富谷市の平均年齢40歳代は大きな強みではありますが、同時に、介護責任や養育責任を同時に背負わなければならない多

そこで、10年後の富谷市政を問うと題し、少子・高齢化問題、いじめ問題について、質問をします。

親の介護、子供の学費、会社での責任が最も高くなる40歳、50歳代、多重責任世代がもつと余裕が持てるように、恵まれた富谷市だからこそ、

子づくり・子育ての環境に公費を投じるべきだと考えます。事後対策的に少子化対策を講じていては、市外の市町村にも起こっている過疎化や消滅



齊藤 秀行 議員

都市になる危険性が増すばかりです。財政負担を圧縮し、次の世代に希望を見出せるまちづくりをするのが行政執行に課せられた命題と言えます。

富谷市の現状をふまえた上で、海外や他自治体での先進事例を参考にし、独自の施策を講じる意思があるのか質問します。

今、富谷市が行える子育て支援など含めて、今後も行える部分については取り組んでいきます。

家庭内教育支援の必要性については、しっかりと努めていきます。

問 給食食材の地場産拡大どうする

答 活用できるか最大限検討します

食育推進、学校給食について質問します。

本年度から米飯が月2回増えましたが、全て米飯給食にすべきでは。

給食はバランスのとれた栄養と嗜好に合わせた二面性を考え、総合的に検討を進めていきます。

子どもの嗜好ではなく食事させることが基本です。ご飯をしっかりと

今、富谷市が行える子育て支援など含めて、今後も行える部分については取り組んでいきます。

パンか米飯かだけではなくパンの場合は、いわゆる洋食メニューである



▲ 給食メニュー

り、続けてほしいということもあります。

給食食材は、給食センターと農林振興課が一緒に、地場産食材の拡大を図るべきであり検討は

問 杜乃橋保育施設 公立の検討は

答 民間での運営を進めました

子育て支援について質問します。

今年度は、子ども・子育て支援事業計画の中

現時点で着手していませんが、計画になかった分の定義変更も含めて実施を考えています。

杜乃橋の保育施設を公立保育所で、という検討はしましたか。

公立は補助金がなく、全て市の一般財源です。私立は、建設、運営に補



佐藤 聖子 議員

センター方式に限界があり、いかに地場の作物を活用できるか大きな課題ですが、取り入れる手法を最大限検討していきたいと考えています。

助金が活用できることなどから民間での運営を進めました。

平成27年3月、高市総務大臣が公立保育所の施設整備、運営費が一般財源化の影響を生じないよう適切な措置を講じると述べたことを把握していますか。

報道で見た記憶があります。

問 いじめ問題の対策について

答 家庭と学校で密に連携します

いじめ問題の対策は、いじめが起きてから考えるのではなく、いかに早く発見し、未然に防止をしていくことが一番重要であると考えます。

そのためには、家庭内での子どもの様子を会話を通してしっかりと見守ること、地域の方々との連携が重要であり、学校と家庭との信頼関係を強固なものとしていくことが一番のポイントであると思います。

問 保護者との情報の共有、連携による対策は、



答 学校だよりや保護者会などで取り組みについて周知しています。また、警察や民生委員の方々の懇談会、登下校の見守り活動などいじめを未然に防ぐ取り組みをしています。

問 いじめ問題の今後の方向性は。

答 いじめ問題対策委員会を立ち上げ、組織的かつ丁寧に対応していきま

問 新学習指導要領について

答 しっかりと準備していきます

問 現在取り組んでいることは。

答 小学校英語の教科化に向け、英語等支援員を配置し、中学校へのタブレット端末の配備を今年度完了しました。

問 英語の教科化による先生への指導は。

答 実務の補助教材を配布します。



畑山 和晴 議員

問 仙台市のいじめ問題をふまえての話し合いは。

答 臨時校長会を開き、学校いじめ防止基本方針の点検と見直しの指示を行いました。

問 市内小中学校で子どもたち自身が考える「いじめゼロ宣言」を進めるべきと思いますが。

答 ネットトラブルに限定せず、いじめを含め中学生サミットのテーマとして検討していきます。

問 動き出した行財政改革を問う

答 全庁挙げて取り組みます

平成28年度決算書によると、経常収支比率は前年度より悪化し、93.8%になりました。経常経費の抑制は待ったなしの状況だと思います。

本年4月の組織改正で行政改革推進室を設置。7月21日には第1回富谷市行政改革懇談会を開催し、平成30年3月下旬に「富谷市行政改革基本方針」を公表するとのスケジュールが示されました。

問 行政改革基本方針（案）の考え方は。



▲ 富谷市行政改革懇談会

答 本市の行財政を取り巻く環境は、扶助費を始めとする社会保障関係費や公共施設の維持管理などに要する経常経費が年々増加傾向にあり、財政運営は今後とも厳しい状況が続くことが見込まれています。

総合計画の着実な推進と将来にわたり持続可能な財政運営を両立するために、全庁挙げて行政改革に取り組みます。

問 財政状況上の課題は。

答 人口増加や行政ニーズの増大に伴い、近年、慢性的な財源不足が生じているため、財政調整基金や臨時財政対策債に頼る財政運営となっています。

財政調整基金の取り崩しや積み立てを考慮した実質単年度収支は、平成24年度以降、マイナスと



出川 博一 議員

なっていることから、事務事業の見直しによる歳出削減や未利用地の売却などの新たな歳入確保策により、行政改革を通じて改善を図っていきます。

問 地方自治法の改正によつて、他の自治体にある既存の施設を利用する、いわゆる地方自治体間の連携協約の制度への見解は。

答 自治体間で連携できるものについては連携を模索していく必要があると思います。

総務省の指導や情報などを収集しながら、利用できる部分に関しては最大限利用していきたいと考えています。

問 子育て支援センターについては

答 さらに充実と発展につとめます

現代社会で、核家族化や少子化が進行する中、子供たちを安心して産み育てられる環境の整備に重点をおき、子育て支援策の一層の充実と強化のため以下質問します。

問 子育て支援センターの概要と対象年齢は。

答 妊娠期から子育て期を支援するため、情報提供や相談支援、母子保健事業を行っています。対象は妊娠中の方から18歳未満の児童と保護者です。

問 現在行われている事業とその内容は。

答 母子手帳の交付や乳児検診といった母子保健事業の他に、遊びの広場や子育て講座などを実施しています。

問 発達に支援が必要な

子供に対する支援は。子供に対する支援は。子供に対する支援は。

問 図書館建設については

答 建設に向け調査研究を進めます

問 建設費や運営管理、維持費等に対する市の考え方は。

答 富谷市次世代型図書館づくりの計画骨子に基づき、来年度基本計画を

作成する予定です。
問 市民の関心度について市の認識は。

答 高いと認識します。



長谷川 美 議員

問 歳出削減と総合計画推進について

答 検討を重ね進めています

行政には、最少の経費で最大の効果をあげる「費用対効果」に加え、「維持管理に要するコスト」を意識した効率的な運営が求められています。

問 コンビニ収納やコンビニ交付が開始され、出張所での取扱件数が減少したことに伴い、出張所機能の見直しが必要と考えます。出張所での納付件数の減少は。

答 四割程度取扱件数が減っています。
問 「図書館を建設する



▲ 富谷市総合計画

方向で進めている」とのことでしたが、富谷には、他にない優れた特性ともいえる、六つの公民館を地域・団地ごとに整備してきた経過があります。公民館図書室を含め、分散型文化施設で事業を展開し、地域住民から支持を得てきました。宮城県図書館まで至近な環境にある自治体であり、最大の課題は、単独で市制施行した富谷市には、合併特例債のような大きな財源がなく、建設するための財源確保、その後の維持管理コストを考えれば、将来的に持続可能な財政運営と合致するか、賛否の判断が分かれる状況にあります。市長は図書館建設を決断しましたか。

答 次世代型図書館整備事業は順調に進んでおり、建設となる場合には、財源の裏付けを見極め、具体的に検討しながら、最終的に結論を出します。
問 富谷市の教育委員の報酬水準、黒川、全県的な位置は。

答 郡内、市部で一番下の金額です。
問 教育委員の報酬を、世間並みの水準にするとは、職務への誇りや使命感あふれる優れた人材の登用につながると考えます。市長の見解は。

答 改定しないということではなく、来年度に向けて検討しています。

問 パークゴルフ場整備に自衛隊の部外工事を利用できますか。

答 利用できる方向性には変わりありません。



若生 英俊 議員

問 企業誘致への取り組みを問う

答 トップセールスで推進します

富谷市の平成27年度一般会計歳入は約134億円です。自主財源は約72億円です。自主財源のうち法人からの歳入比率は11・22%で県内各自治体平均は20・11%で、本市は県内最下位です。法人からの歳入は自由度の高い財源と考えます。安定した強固な財政基盤の構築には、企業誘致を図り法人からの歳入増を目指すべきです。物流などのための交通環境の充実も図るべきです。



▲ 高屋敷工業団地内

問 企業誘致のための土地はどの位ありますか。

答 高屋敷地区に大和ハウス工業(株)が所有する約3・5haです。今後は仙塩広域都市計画見直しにおいて、成田二期北、成田南、高屋敷西の3地区が工業系として、市街化区域編入予定です。宮城県と協議しています。

問 企業誘致への取り組み、今後の考えは。

答 総合計画及び地方創生総合戦略で、企業誘致の実現により新規雇用の創出を掲げており、今後もトップセールスで積極的に推進します。

問 創業支援への取り組み、今後の考えは。

答 地方創生拠点整備交付金を活用し、現在整備中の(仮称)富谷まちづくり産業交流プラザの計画で、起業・創業にチャ



金子 透 議員

レンジでき、それぞれの価値観に即した働き方ができるような支援体制を整備します。

さらに、委託発注して施設の利用者ニーズ、運営手法、維持管理体制など、人材育成事業も展開します。

問 富谷ジャンクションフル化についての取り組み、今後の考えは。

答 黒川地域の市町村と利府町で5市町村による建設促進期成同盟会や、仙台市・富谷市広域行政協議会、東北市長会などで要望活動をしています。また、私自身が上京した際、個別に関係省庁、関係機関への要望活動を行っています。

問 富谷まちづくり産業交流プラザ

問 地域内経済循環の政策の充実

答 地域の発展に前向きに検討します

どの都道府県でも雇用の7〜8割が中小企業です。中小企業を応援し、地域内経済循環が生まれる取り組みが必要です。

問 中小企業及び小規模事業者振興条例制定を目指す考えは。

答 重要と認識しています。中小企業の経営基盤強化への取り組み、関係機関との連携強化、地域経済を下支えする中小企業の振興策も引き続き、前向きに検討します。

問 大企業への協力要請



▲ 富谷まちづくり産業交流プラザ

の条例化は。

答 協定締結企業や大学を視野に、富谷らしい仕組みを構築したいと考えています。

問 正規雇用など地域に人・物・情報が繋がる仕組みは。

答 産業交流プラザの事業で考えていきます。

問 地域内産業ネットワーク、異業種交流、中

問 エネルギービジョンの検討は

答 今後研究していきます

問 ビジョンには市民の声を反映するか。

答 当然、有識者を含め、いろんな方の意見を聞いていきたいです。

問 他自治体では再エネ導入ポテンシャル、エネルギー需要などを調査しているが。

小企業振興会議などをつくる考えは。

答 まちづくり産業交流プラザを中核施設に、来年度へ向けて市内立地企業と交流や意見交換などができる仕組みをつくりたいと考えています。

問 地元企業に仕事があるしくみは。

答 なるべく検討します。

問 今後の策定の視野に置き、市全域のエネルギー需要など今後研究していきたいです。

問 太陽光発電の屋根貸し事業の検討は。

答 協働の可能性を今後検討したいです。



藤原 峻 議員

問 杜乃橋児童の通学環境の整備は

答 新たな財政負担は厳しい状況です

杜乃橋の児童は、小学校まで2・3kmの道のりを、交通事故が頻発している危険交差点を渡り小学校まで通学しています。

通勤時間帯には速度を上げ、住宅地を猛スピードで通り抜ける車もあり、無防備な児童たちが危険にさらされています。

問 小学2年生までの低学年専用通学バス運行を望みますが。

答 市民バス第2便ダイヤ繰り上げて検証します。
問 危険交差点横断回避



青柳 信義 議員

のため、杜乃橋二丁目北側に市民バス始発停留所を設置しては。

答 運行ルートやダイヤの見直し、実測調査などを踏まえ、地域公共交通会議で判断します。

問 杜乃橋地区の児童数の推移を鑑み根本的な通学障害解消の対策は。

答 平成27年度310人、

問 市民バス乗り継ぎ実証の見直しは

答 最終的な数字等を見て判断します

問 利用者数の計画と実績人数を伺います。

答 市役所便1日当たりの計画値20人に対し1・79人。イオン富谷便1日当たりは60人に対して5・45人の実績です。

問 計画に対し1割以下の結果に対しての見解は。

答 今後の進め方を再度

検討します。

問 宮城交通バス停富谷学校前から富谷市役所まで費用負担が1日1・79人利用者で、年間380万円に対する考えは。

答 経費的には相当高いです。

問 公園等に樹木プレート設置は

答 大亀山森林公園に設置します

子ども達の知識の向上・市民の心の癒しを求め、樹木プレート設置は。

問 富谷市の公園数は。

答 街区公園76カ所・近隣公園6カ所・他2カ所の84カ所です。

問 公園に植樹されている樹木の種類は。

答 高木は、さくら・けやき・かえで、低木は、つつじ・まさきなど、約230種です。

問 プレートを設置した公園は。

答 成田緑道と、公園で



▲ 樹木プレート



山路 清一 議員

子ども達の知識の向上・市民の心の癒しを求め、樹木プレート設置は。

問 富谷市の公園数は。

答 街区公園76カ所・近隣公園6カ所・他2カ所の84カ所です。

問 市街化区域編入予定地は

答 住居系3カ所・工業系3カ所です

長期的に安定した土地利用を図ることは、富谷市の発展に欠かせない課題であり質問します。

問 予定開発住宅地の区画数は。

答 成田二期東400戸、成田二期西143戸、明石台東850戸の区画です。

問 計画総人口は。

答 約4800人です。

問 今後の開発負担金への市としての考えは。

答 市の財政、他市町村の動向や社会情勢の変化

は、成田・大清水・大亀山に設置、しかし劣化や破損により残りは少ないです。

問 街区・近隣公園に、

小中学生による樹木プレートの取り付け活動は。

答 野外活動授業として実施可能か、調整を図ります。

を考慮し、検討します。

問 計画一世帯は何人が

答 3・5人です。

問 現状は約2・83人、

答 開発の公益用地の再考は。

問 小中学校の建設予定

答 がなければ、公益用地として集積し確保します。

問 発展に貢献する成田

答 二期北工業用地の現状は。知事も企業に直接要請、復興副大臣も関係機関に、市長自らトップセールスに努めます。

問 今後、仙台市との取り組みは

答 信頼関係を大切に取組みます

新仙台市長が就任し、新たな仙台市政がスタートしました。

富谷市と仙台市が協力し合い、信頼関係を築いていくことが大事です。それが将来、富谷市民、富谷全体にプラスになると思います。今後の仙台市との取り組みについて、質問します。

問 両市における行政課題に対して、引き続き信頼関係を大切に取組みます。

問 新交通システム調査報告書では、地下鉄、ミ

ニ地下鉄が優位と出たようですが、仙台市地下鉄を延伸することが現実的だと思いますが、今後どのように進めていくのですか。

答 仙台市、黒川圏域の自治体や国土交通省、宮

問 基金と市債の残高は

答 基金約71億円、市債約67億円です

問 市債が近年増えてきた要因は。

答 平成23年以降、臨時財政対策債と明石台小学校整備に係るものです。

問 臨時財政対策債は今後も借り入れしますか。

答 臨時財政対策債に頼ることなく、健全な財政運営に努めていきたいと考えています。



高橋 正俊 議員

城県、民間企業など、さまざまな人々の理解と協力を得ながら進めていきます。

問 ごみ焼却と最終処分場の協定書を見直し、放

射能の文言を入れる良いチャンスだと思えますが、**答** まずは事務レベルで協議・検討をしながら、必要に応じて考えていきます。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は12月1日開会予定です。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。 TEL 358-0622

富谷市議会のインターネット録画配信をしています

富谷市議会録画配信URL

<http://www.tomiya-city.stream.jfit.co.jp/>

富谷市議会インターネット

検索

富谷市議会インターネット中継
TOMIYA CITY ASSEMBLY INTERNET STREAM

トップページ 会議名でさがす 議員名でさがす ことばでさがす

録画中継

- 会議名でさがす
会議名の一覧からさがします
- 議員名でさがす
議員名の一覧からさがします
- ことばでさがす
言葉に該当する会議名をさがします

ご質問について

- ・録画中継をご覧になりたい方は、Flash Player プラグインのインストールが必要となります。
- ・この録画や音声は、富谷市議会の公式記録ではありません。
- ・録画や音声の著作権等に関するお問い合わせは、録画が表示されない場合があります。
- ・各ページに記載の文章、写真、音声、録画等の権利を尊重します。
- ・詳しくはご利用ガイドをご覧ください。

お問い合わせ

富谷市議会事務局
〒980-0802
宮城県富谷市富谷町昭和 10番地
TEL 022-358-0622
FAX 022-358-2288
Mail: kyo@tomiya-city.jp

このサイトは富谷市議会の公式記録です。録画の表示またはダウンロードはできません。
Copyright © TOMIYA CITY ASSEMBLY. All rights reserved.

よりよいまちづくりのために

調査しました

(6月～9月実施)

委員会活動

地域公共交通会議の 果たす役割

調査先：福井県坂井市

◎調査日 7月20日
坂井市の地域公共交通会議は地域にふさわしい公共交通を作り上げるため、住民、交通事業者、行政など関係者の参加で、総ぐるみの協議の場となっています。路線バス、コミュニティバスなどの利用状況を把握・検証し、客観的に評価。さらに、利用者アンケートなどで改善につなげていました。富谷市において、地域公共交通の整備は市の発展に欠かせない最重要課

題です。通勤、通学、高齢化による交通弱者の救済など将来を見据えた取り組みが急務です。富谷市は仙台市地下鉄泉中央駅までの市民バス乗り継ぎ実証運行を実施していますが、市民が本当に望む交通課題解決のために市民を交えた公共交通会議を開き市民の意見を聴くなど、多くの市民が納得できる交通政策が必要と感じました。



JK(女子高校生)課 プロジェクトでまちづくり

調査先：福井県鯖江市

◎調査日 7月18日
鯖江市では先進的に市民協働のまちづくりを進めてきた風土がありましたが、市政に参加する若者への普及が課題でした。これまで最も市政に遠い存在と思われていた女子高校生を対象とする、JKプロジェクトが平成26年から始まりました。自ら企画したゴミ拾い企画「ピカピカプラン」、オリジナルスィーツ開発、いろんな市民(お寺の住職、議員など)とのガチ

会議など活動の結果、「他人事だったまちのことが自分事にならわってきた」と意識が変化。行政側も「信じて任せることが大切」「若者が動けば大人が変わる。大人が変われば地域が動く」と高く評価。富谷市においても、大人の常識や型にとらわれない、若い人たちに信じて任せる事業の創出が、新しい市の発展につながるものと感じました。



総務常任委員会

※市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

〈その他の調査先〉

◎調査日 7月19日
福井県勝山市「わがまち魅力発散事業」

赤穂市立民俗資料館における 管理運営について

調査先：兵庫県赤穂市

◎調査日 7月18日

赤穂市立民俗資料館は、大蔵省塩務局の庁舎として明治41年に建設され、その後、市が譲り受け整備・改修し、100年を超えた今も随所に面影を残しています。

から、公益財団法人「赤穂市とみどり財団」に指定管理で委託しています。さまざまな企画展やイベントの開催により、来館者数は増加傾向にあり、シルバー人材の就業場所の提供など積極的な取り組みが行なわれています。

ただ、運営については建物の老朽化の問題などもあることから維持管理費も課題です。本市でも、民俗ギャラリーの移転改修を行っています。品収集や展示方法など、とても重要なテーマであると感じました。



「もみわ広場」における 管理運営

調査先：岡山県瀬戸内市民図書館

◎調査日 7月20日

基本理念は「もちより、みつけ、わけあう広場」とし、愛称を「もみわ広場」としています。理念実現のための7つの指針は①市民が夢を語り可能性を広げる②コミュニティづくり役に立つ③子どもの成長を支える子育てを支援する④高齢者の輝

きを大事にする⑤文化、芸術との出会いを生む⑥全ての人の居場所⑦瀬戸内市内の魅力を発見し、発信する広場としています。事業費は10億円未満ですが、図書購入費を含め年間1億円のランニングコストがかかります。

運営は、指定管理ではなく公営としました。大切な検討項目です。富谷市は何を基本に、図書館の持つ力をどのような形で発信するのか、様々なコミュニケーションの「核」となるため、次世代型図書館建設に向けた大事な視察となりました。



〈その他の調査先〉

◎調査日 7月19日

岡山県岡山市「岡山市介護予防ポイント事業について」

産業建設常任委員会

※経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

宿場町における 地域活性化について

調査先：三重県亀山市

◎調査日 7月10日

三重県亀山市「関宿」を調査しました。関宿は、東海道53宿場の47番目、当時の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、建造物の保存と、歴史的な街並みを生かしたまちづくりに取り組んでいます。文化財だけでなく、道



路整備等周辺のまちづくりのために、国交省の街なみ環境整備事業を活用。8年間で総事業費10億円のうち半分の助成がありました。文化財は1軒1軒を調査し、昔の時代に戻しています。修理・修景事業は昭和60年より毎年数件ずつ支援を実施。

また、景観法の規制や、無電柱化は「裏引き」という一番安い方法を採用。長期的・計画的にまちづくりを進めており、400年を迎える富谷宿に参考になりました。

地産地消促進のための 公共施設のあり方

調査先：三重県松坂市

◎調査日 7月11日

三重県松坂市にある松坂農業公園ベルファームは、農業公園という新しい形態の市民公園です。株式会社松坂協働ファームが、指定管理者として運営しています。地産地消・スローフードをテーマに、公的施設としてサービスを提供しています。



都市と農村の交流拠点、市民が自然や農業について学ぶ知的体験施設として松坂市の特産品を使った料理教室や、広大な農場を生かした農業体験、青空マルシェや、手づくり市など何度も足を運びたくなるようなイベントを企画しています。民間

企業ならではの努力と知恵を生かした運営がされていると感じました。本市でも道の駅構想を進める上で、一次産業をはじめとする地域経済の活性化、市民の交流拠点・運営方法など参考になりました。

議員全員協議会

8月4日

〔執行部から説明〕

- ①宮城県指定廃棄物等処理促進市町村長会議結果について
- ②富谷市及び村田町との自治体クラウド導入について
- ③水素エネルギー事業関係について

〔協議事項〕

- ①仙台市・富谷市広域行政協議会委員の推薦について

9月13日

〔調査事項〕

- ①議会報告会における開発負担金関係の発言について

8月29日

〔執行部から説明〕

- ①富谷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
- ②富谷市国土利用計画の策定について
- ③人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(2件)
- ④平成29年度富谷市一般会計・特別会計補正予算について

9月15日

〔協議事項〕

- ①各常任委員会委員の選任について
- ②各常任委員会正副委員長の報告について
- ③議会広報調査特別委員会委員の選任について
- ④議会広報調査特別委員会正副委員長の報告について
- ⑤議会運営委員会委員の選任について
- ⑥議会運営委員会正副委員長の報告について
- ⑦議席の変更について

議会活性化 調査特別委員会

7月24日・9月6日

〔協議事項〕

- ①政治倫理条例策定について

9月13日

〔協議事項〕

- ①政務活動費のあり方について
- ②災害時緊急議員行動マニュアル作成について

政務活動費の収支を報告します

○会派等別収支内訳

平成28年4月～平成29年3月

(単位：円)

会派名(人数)	申請額	支出額	戻入
日本共産党 (2人)	360,000	360,000	0
フロンティア富谷 (2人)	360,000	360,000	0
みらい富谷 (3人)	540,000	540,000	0
新星とみや (5人)	840,000	641,526	198,474
ネクスト富谷 (3人)	540,000	306,176	233,824
議員 (4人)	780,000	661,391	118,609
計(19人)	3,420,000	2,869,093	550,907

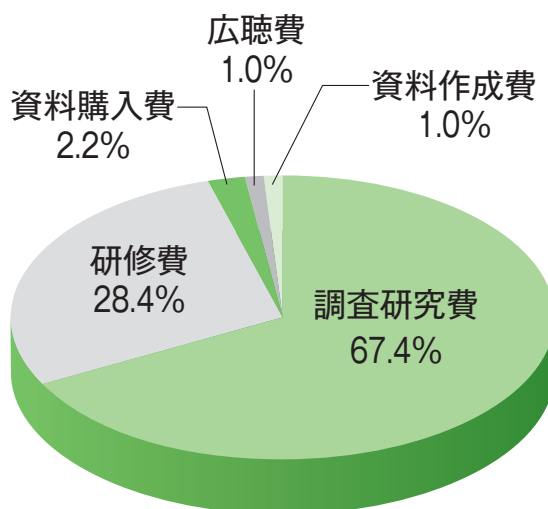
※政務活動費(一人当たり上限月額15,000円)実支出

※平成28年12月に新星とみやが4人となり、議員個人が1人増。

それに伴い、4カ月分(60,000円)が「新星とみや」より「議員」へ移動。

○使途別内訳

(支出額は各会派及び議員の使途項目別の合計額です)



◎収支報告書は、議会のホームページに掲載しています。領収書等は、議会事務局で閲覧できます。

宅地開発負担金に関する調査特別委員会について追加掲載

本年3月25日に開催された第4回議会報告会で、市民から宅地開発負担金免除に関することを「もっと市民に知らせてほしい」との要望がありました。

調査特別委員会の調査報告書の附帯事項において、前町長に議会へ改めて説明と謝罪を求めています。本年3月17日の第1回定例会において前町長から発言があり抜粋して掲載します。

(全文は議会HPの「議会議事録」で見ることができます。)

地方自治法109条、

委員会条例5条に基づき委員会が設置され、平成27年11月から平成28年12月までの間、18回にわたって慎重に調査を重ねてこられたことに敬意を表します。また、説明の機会を設けていただき、感謝を申し上げます。

報告書の附帯事項には、開発負担金の免除、減免は前町長が独断で決定したものであり、議会において改めて説明と謝罪を求めるとの内容でした。

負担金免除に至る経緯や背景及び免除決定の判断について、町民、市民、議会の皆さんに説明がなかったとのこと指摘については真摯に受けとめ、この場をお借りしてお詫びを申し上げます。

委員会が設けた6つの調査項目のうちの1つに「開発負担金免除の決定に際して、町当局としての総意は反映されたか」の項目がありますが、委員会報告では、独断で決定したと結論づけています。

しかし、私といたしま

しては独断で決定したとの指摘は当たらないとの思いから、庁内協議を経て判断し決定したプロセスを総意によると申し上げてきたところです。

総意とは、全体の意思を指すところではありませんが、負担金免除に関する課題について協議するため、関係各課の職員を参集し、町の支援内容がおおむね妥当であるとの判断に至ったことを「総意をもって判断した」と表現してまいりました。

町として、負担金免除の重要な意思決定をするにあつては、当時、庁内協議を経た上で慎重な判断が町長に求められたことは言うまでもありません。

負担金免除、減免につきましては、当時、組合から事業を確実に推進するため、負担金を免除、減免してほしい内容の要望書が提出され、それに基づいて内容を精査し、慎重な協議を経て最終判断に至ったものです。

負担金免除決定に至る経緯について、既に職員

が言っているように、負担金免除要望の対応に当たり、関係各課の意見集約を行いました。「開発指導要綱がある中で免除ができるか」「開発負担金は寄附行為なので、強制できないのではないのか」「開発指導要綱に関する敗訴事例があること」と、「開発要綱の見直しを検討したら」など、関係職員との協議の中で出された発言であり、私がこれらすべてを発言したわけではありません。

また、水資源負担金を減免することに違法性はないか。条例上の規定はどうなっているか。これまでの指導要綱の運用はどうであったか。負担金に関する指導要綱の法的拘束力はどうか。ごみと下水道については条例制定されていない背景など、関係する職員を参集し協議を重ねたとも答えており、委員会の独断で決定したとのこと指摘は、見解を異にするところです。

負担金の減免に至った背景につきましては、前回の第6回線引きスケ

ジュールとしては、平成22年3月の最終決定告示に向けて平成20年から本格化し、平成21年3月に県に提出をし、7月に編入確定と進んでいったと思います。

当時、町としても明石台で行き止まりとなっていた都市計画道路宮沢根白石線の550メートル区間が開発にあわせて整備されることにより、町の発展に資すると判断したものです。

仮に、町の負担が3億円と捉えた場合であつても、市街化区域編入により、人口増、税収増、国勢調査後の市制移行の確実性など、富谷の発展に必ずやつながると判断したところです。

負担金を免除する決定に当たり、行政行為に違法性と瑕疵がないかどうかについて慎重に検討を重ねた上で、負担金免除決定の判断に至ったものであることを改めて申し上げます。

また、開発要綱に定める負担金に法的拘束力があるかどうかについても

慎重に検討をしました。開発指導要綱に定める負担金は、通説では、あくまで内部ルールにとどまり、外部に対する法的拘束力を持たず、義務を課すことができないとされています。また、開発負担金に義務を課すためには、条例によらねばなりません。が、実質的に法的拘束力を持たないというのが行政法上の通説となっています。

したがって、負担金免除の決定の判断にあたり、開発負担金の支払いを求める法的根拠がないこと。事業者と町は対等で、町が事業者に対して優越的立場に立つ関係性がないこと。減免することには違法性はないこと。富谷の発展、市制移行の確実性の担保となり、公共の利益に合致することなどから、裁量権を逸脱しない行政行為であり、負担金免除決定に違法性と瑕疵はないものと認識しているところです。

(公社)富谷市シルバー人材センターから支援の要望

平成29年7月28日、公益社団法人富谷市シルバー人材センターの理事長から、議長に「ニッポン一億総活躍プランを地域社会で実践するシルバー人材センターの決意と支援の要望」を提出されました。

要望書の趣旨は、少子高齢化が進む中で、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現が重要となっており、シルバー人材センターは地域社会の維持・発展と急増する高齢者の受け皿としての役割があり、事業推進のために補助金や事業発注の確保について要望するものです。

人権擁護委員を推薦

人権擁護委員について、市長から推薦があり、賛成多数で可決しました。

高橋 一郎さん(明 石)
平間由美子さん(とちの木)

請願と陳情の提出方法

市民のみなさんは、市が行うことに関して意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

●請願書

請願書を提出する場合は市の議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択か不採択、または保留を決定します。その結果は請願者に通知されます。また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関ほか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることになります。

●陳情書

陳情書を提出する場合は市の議員の紹介はいりません。陳情書には法的な効力が無いため、議員に配布されますが議長の判断により、所管事項に該当する委員会へ送付して審査するか決定します。本会議へ報告された後、関係機関に意見を付して処理を要請します。また、審査結果を陳情者に通知します。

●請願書・陳情書の提出

1. 文章で提出し、邦文をつかいます。
2. 表紙に請願書(「陳情書」も同じ記入方法です。)と明記し、提出年月日、請願者(法人の場合は代表者)の住所、氏名を記載し、押印します。
3. 請願内容を示す表題を付け、請願事項の簡潔明瞭な要旨と請願の理由を記載します。
4. 請願書の場合は、紹介議員の署名、または記名押印が必要です。

※内容については、明確また簡潔に記載してください。

請願書・陳情書の書式例は富谷市議会HPをご覧ください。

議会広報委員会メンバーが新しくなりました

市議会だより発行1年が経ち、議会活動の情報発信充実へ、愛読される紙面づくりを目指します。

浅野直子委員長

市民の皆さんに、議会が身近に感じてもらえるよう親しみのある議会だよりを作成していきます。

畑山和晴副委員長

富谷市となって早一年。市議会が市民の皆様にとってより身近なものとなるよう頑張ります。

青柳信義委員

広報委員として、2年間務めることになりました。議会活動をお伝えするために努力します。

若生英俊委員

市となり一年が経過し、新編集委員となりました。新鮮な気持ちで、読みやすい紙面を目指します。

長谷川美委員

何よりも「分かりやすく」「読みやすい」誌面に来るよう頑張ります。

藤原峻委員

※任期は2年です

広報委員会新メンバー

右から
藤原 峻 委員
青柳 信義 委員
畑山 和晴 副委員長
浅野 直子 委員長
長谷川 美 委員
若生 英俊 委員





未来へはばだけ とみやっ子 富ヶ丘小学校



▲ 市民歌を共に歌う児童

「児童を見守り育てる
サポーター」

富ヶ丘小学校は、たくさんさんのサポーターさんによって支えられています。登下校の見守り「安全サポーター」、学校環境整備の「環境サポーター」、学習支援の「活動サポーター」、そして豊かな情操育成の「図書・読み聞かせサポーター」。2001年に始まった活動は、児童と共に充実を遂げ、現在は五十数名の協力をいただいています。新しいサポーターさんも大歓迎ですので、是非本校ま



でご連絡ください。かわいい子供たちが待っています。

「なかよし交流会」

本校には、利府支援学校富ヶ谷校（小学部）が併設されています。校内には仕切りがなく、お互いが自由に行き来できるようになっています。総合学習等では、各学年ごとに支援学校との交流学習も行われています。9月に行われた3年生との交流会では、お互いの発表を見合った後に、丘小名物「乱舞」を一緒に踊り、楽しい時間を共有できました。お互いを思いやる優しい心を育てることが、保護者・地域・学校の共通の願いです。

<今月の表紙> しんまち通り

しんまち地区周辺は奥州街道の宿場町に由来する町並みを残す貴重な地区です。今後も歴史と風土を象徴する、魅力ある町並みとして景観の維持を図っていききたいものです。

自然・人・音楽の街へ

いながきたつや
稲垣達也さん(富ヶ丘)

私が生まれた昭和30年の東京には古き良き日本の風物や武蔵野が残っていました…これが私の音楽の原風景です。

2007年、家族と仙台市内から富谷に引っ越してきました。

四季折々の泉ヶ岳や七ツ森の景色が嬉しいです。

引っ越した年に始まった『十三夜 魂のふるさとまつり』には毎年出演させていただいていました。

富谷には音楽だけでなく、さまざまな分野のアーティストや愛好家の方々がおられると思います。もっと交流ができて、それが新しいものを生み出す刺激、きっかけになったらいいですね。そんな、ネットワークが作れないものか？

そして、昨年からはまった『街角カフェ』など月例の地域の皆さんの交流に音楽でお役に立てたらいいですね。

これからも自然の恵み（自然環境、農業、エネルギー）を大切に、第二世代の人も住み活動できる富谷であって欲しいと思います。



編集後記

市制施行に合わせ、議会だよりも一新してから1年が経ちました。

市民の皆さんに、わかりやすく議会運営や定例会報告などさまざまな情報発信に努めてきました。

表紙は、富谷市の史跡、歴史を探究しながらお知

らせています。

とみやっ子は各小学校を紹介し、みんなの広場は市民の声を載せています。今回、広報委員もメンバーになり、さらに議会だよりを充実させて、皆さんに愛読される紙面づくりを目指しますので、広報委員一同宜しくお願いします。

議会広報委員長 浅野直子